

ま え が き

本県における研修員制度は、昭和50年度に始まり、昨年度までに修了した研修員は延べ608名に上ります。本研修での学びを経験した方々は、各学校・各地方の中核的な存在として活躍し、本県教育の充実・発展に大きく寄与しています。

本年度の研修員研修においても、本県が策定した「教員としての資質の向上に関する指標」に基づいた修養を土台とし、今日的教育課題の解決を図るべく研究を行い、その成果を広く学校現場に還元することを目的として実施しました。

令和7年9月に公表された「論点整理」にも示されているように、これからの学校は従来の「教える場」から「学びをデザインする場」へと転換していくことが求められています。そのため、こどもたちの成長を支える教師には、変化を前向きに受け止め、多様なこどもたちの「深い学び」を確かなものにする「学びをデザインする高度専門職」としての役割がこれまで以上に期待されています。当センターにおける研修員研修は、教師自らが問いを立てて実践を振り返る探究的な学びを通し、こどもたちの主体的な学びを支援する伴走者としての専門性を高めるための重要な機会となっています。

本年度の研修員による1年間にわたる研究と修養の成果の一端を「令和7年度研修員研究集録（第51集）」として作成しました。研究成果については、本年1月30日に開催した令和7年度和歌山県教育センター学びの丘研究報告会において報告したところです。各学校・各地方においては、本研究集録とともに、当センターのウェブページに掲載している資料も併せて、これからの教育実践の参考として活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、本年度研修員の研修に際して、御支援・御協力をいただきました学校並びに関係教育機関の方々に、心からお礼を申し上げます。

令和8年3月

和歌山県教育センター学びの丘
所 長 福 田 孝